

# 特定非営利活動法人 ほっとはうす

## 平成31年(令和元年)度 事業報告

### 1. 事業の成果

#### 【介護サービス事業】

##### 小規模多機能型居宅介護事業

平成から令和へと時代の流れが変化していく中で、高齢化の波はますます大きくなってきている。来る2025年には団塊の世代が後期高齢者となることから、さらに加速することが予想され、対策として総合的な健康づくりの推進や持続可能な介護保険制度の運営、介護サービスの充実、認知症高齢者支援施策の推進などに取り組まれている。

開設から9年を経過した笑の里は、介護施設や通所、訪問系の介護サービス事業所では対応が困難と思われる要介護者も受け入れるとともに、「通所」「訪問」「泊まり」の三つのサービスを柔軟に組み合わせ、ご家族のサポートを行いながら、専門的なケアの提供により在宅ケアの支援に努めてきた。その結果、医療施設の地域連携室や地域包括支援センター、また行政の担当課からの相談も増加し、利用登録者も毎月20名以上を確保でき順調な事業運営を行うことができた。

利用者やその家族の多種多様なニーズに対応するためには、職員の確保やスキルアップが重要な課題である。職員体勢もようやく整いつつはあるが、経験の浅い職員が多い中、職員それぞれの経験に応じた外部研修への参加、毎月実施しているケア会議やカンファレンスを通して学びを得ることに努めた。また資格取得に向けた支援や内部研修の実施により介護技術の向上にも努めてきた。今後もマンパワーの強化を図りつつ利用者やご家族のサポートに取り組んでいきたい。

隔月に開催している運営推進会議では、自治会長様はじめ地域役員の方々に外部評価も含め率直なご意見や情報をいただくことができ、地域連携を図るうえで有意義な機会となった。

今年度末には、新型コロナウイルスの到来により予期せぬ事態が訪れたが、ご家族のご協力も得ながら事業所は何とか継続することができた。

利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民の方々との交流や地域活動への参加も図りながら、地域の介護サービスの一つの拠点として、近隣の方々が気軽に立ち寄っていただき、生活や身の回りの相談へのアドバイスなど身近な支援施設としての取り組みも進めていきたい。

#### 【介護予防事業（ふれあいサロン）】

地域で高齢者が増加するに伴い、介護予防に関する活動や施策などの整備が急がれている中、地域の高齢者サロンなど集会や活動の場が求められているところである。

「ふれあいサロン」は毎月2回開催し、参加者が利用者と交流しながら、楽しく一日を過ごしていただくことができた。ビデオ体操やパズルなどで、筋力の維持向上や脳トレに取り組み、季節ごとの行事にも参加していただいた。

平均 4.7/回、12 日/月稼働。

- ③ 事故報告  
「R1 年 9 月事業所内での転倒により、骨折手術、リハビリ転院、移転となったケース」
  - ・加入保険を適用し賠償。示談にて解決。
- ④ 職員体制
  - ・入職…R1 年 5 月 非常勤介護士を採用  
R1 年 9 月 非常勤看護師を採用
  - ・非常勤介護士の契約変更(就業時間増)…H31 年 4 月～非常勤介護士 2 名
  - ・退職…R1 年 12 月、R2 年 1 月 常勤介護士 2 名、R2 年 3 月 非常勤調理員 1 名
  - ・新任職員研修、リーダー研修に各 1 名参加
  - ・認知症介護実践者研修に 1 名参加
  - ・新任者を対象として事業所内での勉強会を実施
  - ・調理担当者 3 名で増加した食数に対応
  - ・常勤職員は有給休暇の取得、研修サポート、非常勤職員の希望する勤務条件への配慮を行い、職員の健康管理、働きやすい職場づくりに努めた
- ⑤ 介護保険制度の改正・消費税増税への対応
  - ・介護職員処遇改善加利用料増額は現行の加算要件を継続とした
  - ・消費税増税に伴う利用料増額は見送った

#### <取り組み>

- ① 登録者の心身の状態変化に伴う要介護度の見直しを適宜、モニタリングし、適切な要介護度の認定のもと、一人ひとりの能力、レベルに応じたサービスを提供した。
- ② 毎月、利用者一人ひとりのケア目標を設定し、ケアを実行、月末に介護士全員が各々モニタリングし、日々のケアに活かしている。
- ③ 事業所が計画する行事案内を配布し、敬老会、クリスマス・年末お楽しみ会ではご家族の参加を戴いた。
- ④ 事業所内での避難訓練を実施。日々の設備・備品点検は、毎日実施・記録し、防災の意識につなげている。災害時避難計画を作成。
- ⑤ 地域で「介護の実技・講話」を行った。
- ⑥ 利用者自宅での介護環境の改善や工夫、家族の介護力の活用、利用者近隣の方や交番等の公共機関にも見守り支援を依頼し、地域の方の互助、共助をインフォーマルサービスとして位置づけを継続。
- ⑦ 運営状況について定期的に自己評価を行い、かつ行政に状況報告を行い、適正な介護保険サービスの提供に努めた。
- ⑧ 利用者が医療機関に入院したときは入院翌日中に情報提供書を提出、入院中は情報共有し、退院時はカンファレンスに参加し、具体的な退院後のサービス計画を提案した。医療関係者とのネットワークも築けてきた。  
また、長寿福祉課、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所とのネットワークも築けた。
- ⑨ 多種多様なニーズに対応するための職員のスキルアップが課題。認知症や重介護高齢者の人権やケアのあり方・視点、アセスメント能力、日々の健康管理、看取りが必要な方の家庭医学知識の習得や医療ケア関係者との連携等、マンパワー強化を必要としている。研修参加に加え、ケースを通じて学びを得ている。

心身ともに健康な状態で、ゆとりとやりがいをもって業務を実践するため、マニュアルの見直しと実践、コミュニケーションを意識することに努めた。「人」としてかつ「専門職」としての自覚と自信、実践力をつけることが今後の課題。

- ⑩ 運営推進会議で得られた意見や情報共有をもとに業務改善に活かすことができた。事業所のサービスや運営についても徐々に理解や協力を戴けるようになってきた。

#### <日課・月間予定>

##### ① 行事

- ・昨年度の反省を活かし、意味や意義を考えて企画・実行。
- ・毎月の季節にあった行事（趣向は担当者が主となり企画）を実施。
- ・地域の方やボランティア活動の方の参加行事を計画。
- ・適宜、おやつ作りを実行。

##### ② 研修

- ・近江八幡市、社会福祉協議会、小規模多機能型居宅介護部会等の主催する研修に参加。一人ひとりがスキルアップに臨み、自己研鑽する機会づくりを提供した。
- ・事業所内では、モニタリングを通じて認知症高齢者のケアや行動心理症状の理解、ケアの工夫を考察するための学びができた。

##### ③ 会議

- ・「ケア会議」業務改善・ケアの統一化・リスクマネジメントを主旨とし、毎月1回実施。
- ・カンファレンスを毎月末に実施。モニタリング、ケア目標の設定を行い、ケアを充実していくための方策を考案、実施。

※年間行事報告は別紙のとおり。

※年度末は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、行事や会議、研修等を変更、中止せざるを得ない状況となった。次年度の会議開催・出席、研修については厚生労働省や滋賀県および近江八幡市の通達・連絡を受けて対処する。

#### <ふれあいサロン>

- ① ボランティア協力のもと、自宅での閉じこもり予防、外出支援として、毎月2回程度、開業。
- ② 生活や身のまわりの困りごとなどの相談に応じ、要介護状態にならないようアドバイスしたり、福祉や介護保険制度の専門的な相談に応じた。

小規模多機能型居宅介護事業所「笑の里」年間報告

	行事・レクリエーション		研修・勉強会		会議等		防災		その他	
	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容
4月	8.9.12 お花見ドライブ しゃくなげ観賞・喫茶	随時	ケア実技確認	7月会議(15日)・カンファレンス(30日) 小多機部会(12日)	自主点検	笑だより発行 医学生見学実習(10日)				
5月	8.9.10 なんじやもんじや観賞 子ども神輿見学	28	アセスメント方式	7月会議(14日)・カンファレンス(28日) 運営推進会議(15日)	自主点検	笑だより発行 医学生見学実習(22日)				
6月	11-14 外食会			7月会議(8日)・カンファレンス(29日) 小多機部会(13日)	夜間想定防災訓練(29日) 自主点検	7月会議(8日)・カンファレンス(29日) 小多機部会(13日)	笑だより発行 ほっとはうす総会(15日)			
7月	5.6 七夕まつり	24	記録の書き方	7月会議(9日)・カンファレンス(29日)	自主点検	笑だより発行				
8月	10.23.27 30.31 喫茶・外食	12	小多機部会研修会①	給食会議(4日)・運営推進会議(17日)	自主点検	職員懇親会(25日)				
9月	8.9 夏まつり			7月会議(1日)・カンファレンス(27日) 小多機部会(8.27日)	自主点検	笑だより発行 岩倉中実習講義(28日)				
10月	13.14 敬老祝賀会			7月会議(3日)・カンファレンス(25日) 運営推進会議(18日)	自主点検	笑だより発行				
10月	25.26 17 運動会 馬淵幼稚園児交流			7月会議(3日)・カンファレンス(26日) 小多機部会(25日)	自主点検	笑だより発行 台風のため通い休業(12日) インフルエンザ予防接種(24.30日)				
11月	4 19.29.30 馬淵学区文化祭 紅葉狩り・喫茶	4 13	認知症研修 小規模部会研修会②	7月会議(11日)・カンファレンス(28日) 運営推進会議(20日)	自主点検	笑だより発行				
12月	21.25 年末お楽しみ会	29	事業所自己評価	ケア会議(9日)・カンファレンス(担当個別) 小多機部会(12日)	自主点検	笑だより発行				
1月	10.11 30 29 新春のつどい もちつき 獅子舞	15	外部評価	ケア会議(16日)・カンファレンス(30日) 運営推進会議(15日)	自主点検	笑だより発行 年始通い休業(1.2日)				
2月	3.4 節分豆まき			ケア会議(15日)・カンファレンス(27日) 小多機部会(13日)	自主点検	笑だより発行 浄化槽工事のため通い休業(23.24日) サービース情報公表				
3月	1.2 ひな祭り			カンファレンス(担当個別) 運営推進会議(感染症予防対策・書面)	自主点検 防災訓練 (感染症予防対策・計画書確認)	笑だより発行 コロナ感染症拡大予防対策				

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
高齢者の介護 事業及び介護 支援事業	小規模 多機能型 居宅介護事業	通年  <通所> 9:00~15:45 (363日)  <訪問> 随時 (363日)  <宿泊> 18:00~9:00 (146日)	近江八幡市 千僧供町 127-1		<登録者> 月平均 21.3人  <通所利用> <通所> 3~8人/日 6~15人/日 329人/月 3,946人/年  <訪問利用> <訪問> 1~3人/日 4~7人/日 217人/月 2,599人/年  <宿泊利用> <宿泊> 1人/日 4~5人/日 58人/月 690人/年	45,261
介護予防支援 事業	ふれあい サロン事業	毎月2回 10:0~15:30 (年間22回)	近江八幡市 千僧供町 127-1 「笑の里」にて	ボランティア 1名	介護認定を受け ていない 高齢者 1~2名/回	

※詳細については利用状況を参照

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	支出額 (千円)
なし					

平成31年(令和元年)度「笑の里」利用状況

利用件数

	通所		宿泊		訪問	
	件数	稼働日	件数	稼働日	件数	稼働日
4月	314	30	52	11	215	30
5月	355	31	62	13	205	29
6月	319	30	59	12	183	29
7月	339	31	50	10	245	31
8月	359	31	70	15	199	31
9月	387	30	69	14	247	30
10月	340	30	62	13	257	31
11月	309	30	63	14	190	30
12月	305	31	59	13	203	31
1月	305	29	52	11	211	31
2月	295	29	45	10	216	29
3月	319	31	47	10	228	31
計	3,946	363	690	146	2,599	363
月平均	329	30	58	12	217	30

稼働率

	定員/日(人)	平均利用者数(人/日)			平均介護度	新規(再)利用者(人)	退所者数(人)
		通所	宿泊	訪問			
4月		10.5	4.7	7.2	2.64	2	1
5月		11.5	4.8	7.1	2.5	1	1
6月		10.6	4.9	6.3	2.64	0	1
7月		10.9	5.0	7.9	2.75		
8月		11.6	4.7	6.4	2.84	3	1
9月	通所18人	12.9	4.9	8.2	2.94	1	
10月	宿泊5人	11.3	4.8	8.3	2.73	1	2
11月		10.3	4.5	6.3	2.76		2
12月		9.8	4.5	6.5	2.75	1	2
1月		10.5	4.7	7.4	2.57	1	
2月		10.1	4.5	7.4	2.47	2	
3月		10.3	4.7	7.4	2.47		2
年間平均		10.9	4.7	7.2	2.67		

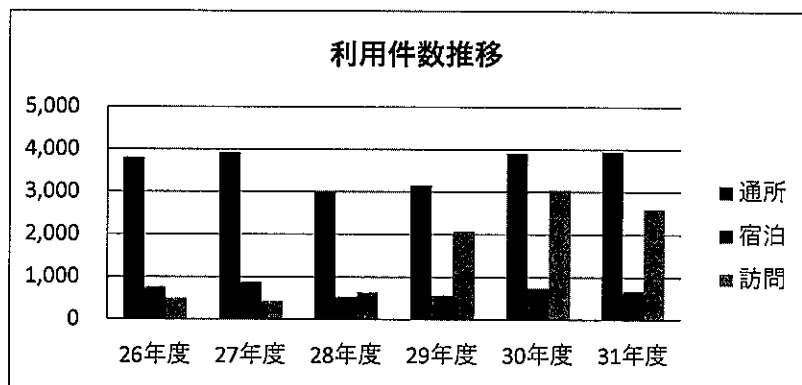
介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	6	5	4	3	3	3	4	4	5	6	7	7	57
要介護2	2	5	5	5	6	5	5	4	3	4	4	3	51
要介護3	5	5	4	4	4	5	6	5	6	5	4	3	56
要介護4	0	0	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	7
要介護5	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	44
小計	17	18	17	16	19	19	19	17	18	19	19	17	215
要支援1	1	1	1	1	1	1	1			0	1	1	9
要支援2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	1	2	2	22
小計	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	3	3	31
総計	20	21	20	19	22	22	21	19	20	20	22	20	246

## 笑の里 利用者数の推移

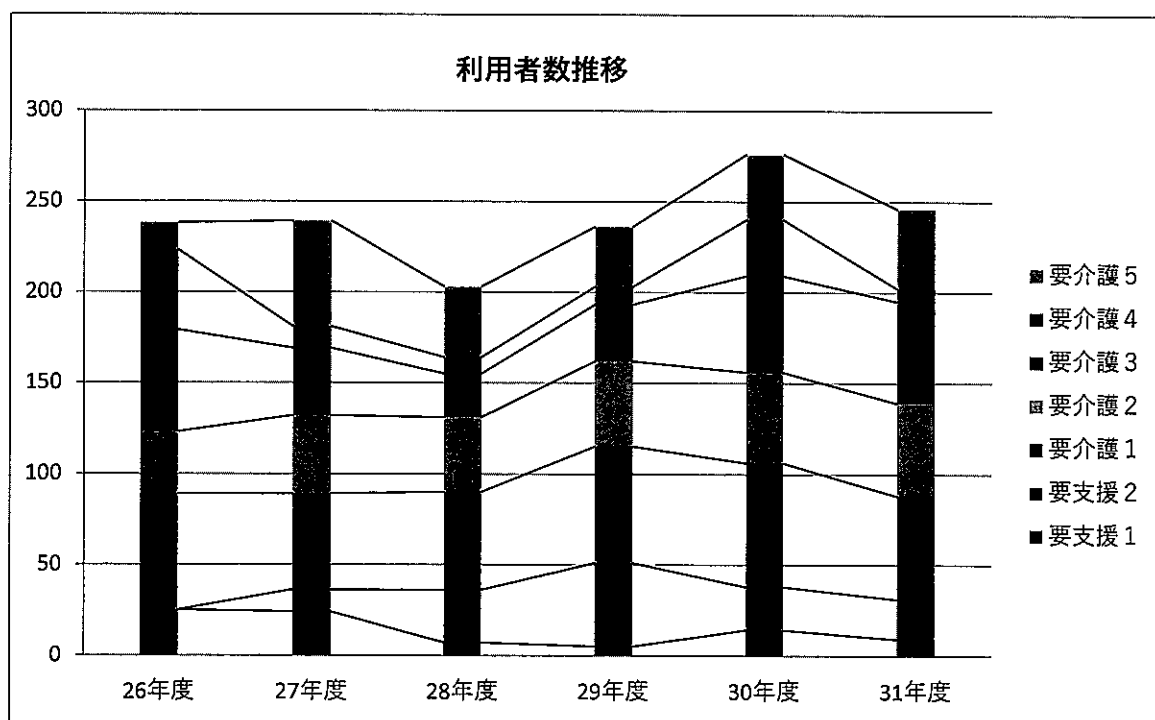
### ※利用件数

	通所	宿泊	訪問
26年度	3,802	761	501
27年度	3,917	883	433
28年度	3,017	539	640
29年度	3,146	575	2,075
30年度	3,908	747	3,052
31年度	3,946	690	2,599



### ※利用者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
26年度	25	0	64	34	56	44	15	238	2.6
27年度	24	12	53	43	37	12	58	239	2.9
28年度	7	29	54	41	24	9	39	203	2.6
29年度	5	46	64	47	31	10	33	236	2.5
30年度	14	24	68	50	53	31	36	276	2.7
31年度	9	22	57	51	56	7	44	246	2.7



特定非営利活動に係る活動計算書  
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目	金 額	(単位:円)
<b>I 経常収益</b>		
1. 介護保険収入		53,603,232
介護報酬収入	42,171,529	
利用者負担金収入	11,431,703	
2. 寄付金収入		10,000
寄付金	10,000	
3. 雑収入		558,300
雑収入	558,300	
4. 事業収入		24,200
サロン事業	24,200	
<b>経常収益合計</b>		<b>54,195,732</b>
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		45,261,954
(1)人件費		37,490,745
職員給料手当	32,376,774	
法定福利費	4,138,913	
福利厚生費	975,058	
(2)その他経費		7,771,209
旅費交通費	18,020	
研修費	23,970	
教養娯楽費	65,520	
諸謝金	57,000	
通信運搬費	280,804	
広報費	80,960	
消耗品費	384,316	
什器備品費	42,117	
保健衛生費	270,886	
食材費	2,271,742	
光熱水費	862,219	
修繕料	603,720	
印刷製本費	79,926	
燃料費	647,340	
車輛費	176,150	
保険料	749,500	
委託料	415,594	
手数料	80,433	
賃借料	504,992	
諸会費	45,000	
地代家賃	111,000	
2. 管理費		2,760,430
(1)人件費		1,800,000
役員報酬	1,800,000	
(2)その他経費		960,430
交際費	72,285	
会議費	26,352	
旅費交通費	57,610	
保険料	25,880	
租税公課	222,483	
支払報酬	500,000	
雑費	55,820	
3. 減価償却費		3,423,234
減価償却費	3,423,234	
<b>経常費用合計</b>		<b>51,445,618</b>
<b>当期経常増減額</b>		<b>2,750,114</b>



Ⅲ 経常外収益			
受取利息		33,202	
利息	33,202		
特別利益		89,999	
その他の収益	89,999		
経常外収益合計			123,201
税引前当期正味財産増減額			2,873,315
法人税・住民税及び事業税			520,600
当期正味財産増減額			2,352,715
前期繰越正味財産額			109,453,835
次期繰越正味財産額			111,806,550

平成31年(令和元年)度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目 ・ 摘 要	金 額	(単位:円)
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金	137,658	
普通預金	53,924,434	
定期預金	30,006,361	
未収金 (介護報酬)	7,903,600	
仮払金 (源泉年調還付充当金)	48,679	
流動資産合計		92,020,732
2 固定資産		
【有形固定資産】		
建 物	18,103,758	
建物付属設備	3,055,690	
車輛運搬具	1,440,996	
器具および備品	104,896	
土 地	1,500,000	
【その他の資産】		
投資有価証券		
固定資産合計		24,205,340
資産の部 合計		116,226,072
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	3,856,970	
未払法人税等	520,600	
預り金	41,952	
流動負債合計		4,419,522
負債の部 合計		4,419,522
<b>III 純資産の部</b>		
前期繰越正味財産	109,453,835	
当期正味財産増減額	2,352,715	
純資産合計		111,806,550
純資産の部 合計		111,806,550
負債及び純資産の部合計		116,226,072

平成31年(令和元年)度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科目・摘要	金額 (単位:円)	
<b>I. 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金・預金		
現金手許有高	137,658	
普通預金 (滋賀銀行八幡南出張所)	53,924,434	
定期預金	30,006,361	
未収金 介護報酬 (2.3月分)	7,903,600	
仮払金 (源泉年調還付充当金)	48,679	
流動資産合計		92,020,732
2 固定資産		
建物 (笑の里)	18,103,758	
建物付属設備 (スプリンクラー、物置)	3,055,690	
車両運搬具	1,440,996	
器具および備品	104,896	
土地 (近江八幡市千僧供町127番地1)	1,500,000	
固定資産合計		24,205,340
<b>資産の部 合計</b>		<b>116,226,072</b>
<b>II. 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金 (3月分給与等)	3,856,970	
未払法人税等	520,600	
預り金 (雇用保険料等)	41,952	
流動負債合計		4,419,522
<b>負債の部 合計</b>		<b>4,419,522</b>
<b>正味財産合計</b>		<b>111,806,550</b>

## 財務諸表の注記

### 1. 重要な会計方針

- ・財務諸表は、中小企業会計基準により作成。
- ・収益及び費用の計上基準 …… 発生主義
- ・固定資産の減価償却の方法  
建 物 …… 定額法  
付属設備・車両運搬具・什器備品 …… 200%定率法
- ・有価証券の評価基準及び評価方法 …… 取得原価法

### 2. 固定資産(減価償却)の増減内訳

科目	取得価額	期首帳簿価額	取得	減少	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
建物	25,005,186	19,253,996			1,150,238	18,103,758	6,901,428
付属設備	8,377,000	3,167,101	657,000		768,411	3,055,690	5,321,310
車両運搬具	5,559,667	1,160,388	1,721,600		1,440,992	1,440,996	4,118,671
器具・備品	460,988	168,489			63,593	104,896	356,092
ソフトウェア	210,000	0			0	0	210,000
計	39,612,841	23,749,974	2,378,600	0	3,423,234	22,705,340	16,907,501

### 3. 役員等との債権債務は一切ない。